

波紋



Ripple

No. 322号

栄ウォーキングフェスタ2012

森松甲冑隊



栄ウォーキングフェスタ2012
森松甲冑隊

3月24日に栄で甲冑を着て練り歩きました。前日から雨が降り出し、当日も練り歩きギリギリまで降っていました。何とか歩きましたが、何には、雨は止み、約5キロの練り歩きを行う事が出来ました。

森松だけでなく、各地域での甲冑隊も多数参加しており、どの甲冑も個人的で、迫力があり目立っていました。良い天気には恵まれなかったですが、「甲冑を着る」という心に残る思いになったと思います。参加した皆さん、お疲れ様でした！

伊東 義弥

森松の仕事とは

森 直樹



ちょうど一年前の波紋第310号は、東日本大震災の発生した月です。もともと被害を受けていない地域の人達にとつては、1年という区切りであると感じますが、被災地の方々にとつては区切りは付かず、未だ終わってはいません。被災からの復興があり、そしてまだ普段の生活が送れていない人達が身近にいるわけです。私自身、もう1年が経ったのかと感じますがこれからも復興への支援を出来る形で継続していこうと改めて思います。

さて、意外とよく耳にすることですが御社はどんなことをしている会社ですか？という質問の際、森松の皆さんはどう答えていますか。「プラスチックの商社です。」「ビニール屋です」「製造業です」「文具屋です」・・・どれも正解ですが、突き詰めていくとお客さんの問題を解決することが私達の仕事の根本であると思います。このような会社のロゴが入ったファイルが作りたい、これだけの予算内で見栄えがする販促品が欲しい、この机に合わせたテーブルマットが欲しい、納期はx月x日までに・・・お客さんの一番大切なポイントがどこにあるかを探り、最適な解答を実現することが私達の仕事の根本ではないかと思えます。サンプルがあれば一番確実ですが、そうでは無い場合最終的な商品の形を、お客さんが思い描いていないければそれに近づくためのサンプルやアイデアを提供する。また場合によっては素材・加工手段を考える。ものを売る、作るという単純な言葉の中にこれだけの中身が含まれるとむしろ我々はそのものを売るために付随するサービスを含めて売っていると考えます。どんなに安くても、レベルの高い品質であっても問題はそれを相手が必要としていない限りは売れません。ですから私自身、「ビニールを販売しています」と言いつつもさらにもう一步深い部分の仕事を伝える最適な言葉は無いかと考えています。そうすることでより多角的に私達の仕事を眺めています。



数字

黒松 康郎(東京オフィス)



私が懇意にしているD印刷のI部長が、会社のHPのブログでこんな事を書いていました。

「東京を中心に営業活動をして23年目を迎えようとしています。そこで、今まで移動に利用した新幹線の乗車回数を計算してみました。

☆乗車回数 名古屋ー東京 往復で約2800回

☆乗車運賃 片道1万円として 約2800万円

☆乗車時間 片道2時間として 約5600時間

☆乗車距離 片道360kmとして 約1,008,000km

地球一周を約40,000kmとすると、なんと約25周とチョット。

「森松に東京営業所(最初は埼玉県草加市)が出来たのは、16年前。今の場所(汐留)に移転してきて6年経ちました。私が草加市にいるときと今の汐留にいる時の生活スタイルは、全く変わりました。自宅が兵庫県三田市なので、毎週末自宅に帰して頂いています。この6年間だけで、I部長の数字と比較して見ました。」

☆乗車回数 東京ー大阪 約720回

☆乗車運賃 片道15,000円として、約1,080万円

☆乗車時間 片道1時間30分として、1,080時間

☆乗車距離 片道500kmとして、約360,000km

地球9周ですか：でもそれ以外にちこち出張を行かせて頂いている事を考えるととてもない数字になるでしょう。上記は主体の移動手段だけで考えただけです。草加にいるときの10年もプラスするとI部長を超えてしまうような気がします。残念ですが無駄だった事も多いだろうな。それだけ自分は会社に貢献できているのか素直に考えさせられます。数字を出して見るといろいろ面白い。

S社の工場長が、「数字は何かを語りかけてくれます」と言います。上記の数字が私に語ってくれるのは、「もっと他にできることあるやろ」なのかな。

はじめは？

加藤 雅昭(営業部)



今われわれが住んでいるこの地球・宇宙はいつできたんだろう？

今の考えはビックバンから始まったといわれています。ビックバン・・・宇宙の初期には全ての物質とエネルギーが1カ所に集まる高温・高密度状態にあったことになる。この初期状態、またはこの状態からの爆発的膨張をビッグバンというそうです。今から約138億年前、そのビックバンにより素粒子から原子が生まれ、やがて銀河が生成されようとする。まさしく宇宙の最初の出来事そのものであり、光と物質が衝突しながらエネルギーが空間を押し広げ、変化することによって、実空間と物質を生み出そうとしていたようです。「NASA」により、1998年に打ち上げられた宇宙背景放射観測衛星(COBE・コービー)により、更に詳しい観測が行なわれ、宇宙のはじめに存在したと考えられている熱平衡状態(爆発によるなごりの熱)を証拠付ける観測結果が多く見つかっています。宇宙が今に比べて非常に小さかった状態より以前は、どのような世界であったのだろうか。一般に宇宙の最初は、「ある時刻」を境にして、時間も空間も何もない「無」の状態だったと考えられています。「ある時刻」以前の無の世界「物質も時間も存在しない」とは、いったいどのような状態なんだろうか？無？何もない？何もないところから出来上がった今のこの世界・・・考え出すと寝れないし、いろいろな文献を調べだしてしまう。きっとそんなことを調べてもどうなるものでもないことはわかっているが落ち着かない。また宇宙の端はどうなっているのだろうか。宇宙に始まりがあって膨張しているというのなら、宇宙には端があるはずだ。またその先にはこの宇宙を包み込む膨大な空間が存在する？膨張を続ける宇宙は、端に近づくにつれて速度を増していきます。端のほうはなんと光速の99%以上の速度で遠ざかっている銀河も観測されています。ではその先は・・・光速以上は観測できません。人類にはそこまでが限界です。そこが宇宙の端と考えられています。日本人の寿命は現在82.3歳、私たちが生きているうちにどこまで解明できるのだろうか。できればいろんなことを知りたい。現在51歳、こんなことを考えるのはおかしい？かもしれない。しかし・・・ブラックホール・地球のコア・深海には何が？シーラカンスは・・・いかに。知りたいことが多すぎる。できれば生きている間にひとつでも多く解明されることを祈っています。オタク！？いえいえ趣味ですよ趣味。

あの頃の森松



村田 恒夫

平成3年9月1日入社

新社屋が完成し1年と少しで中途入社しました。入社してから席替えはなく、同じ机(席)に19年6ヶ月座って経理の仕事をしていきます。入社当時は丁度、販売管理システムの代替で、旧販売管理システムと新販売管理システムと並行して使用していた為に、バタバタしていた記憶があります。当時は、コンピュータ(パソコン)も今程性能はなく、フリーズ・通信エラー等でデータが喪失する等、その度に伝票の打ち直し(再入力)等で夜中まで、営業アシスタントも含め仕事をしたこともありました。また、受注・発注・在庫台帳・売上伝票は全て手書き(アナログ)で、在庫台帳に関しては、毎日、7冊の常備在庫台帳を分担して実施棚卸(1冊30分ぐらい)を行っていました。現在は、1人でパソコンを2台使用する等、受注・発注・在庫・売上伝票等は全てパソコンにて出力・管理しています。在庫の確認も、その日に移動があったもののみを一覧表にて出力して在庫確認をする為、20年前と比較すると実施棚卸に要する時間は1/7(210分↓30分)程度。パソコン等の性能アップにより事務処理・管理も驚くほど効率化されました。

仕事以外では、慰安旅行でハワイ・カナダ・アメリカ(ラスベガス・ロスアンゼルス)・韓国・中国等に行かせて頂き、永年会(親睦会)では、ボーリング大会・イカ祭り・温泉旅行等、楽しい思い出が多々有ります。

体型に関しては、入社当時と現在を比較すると、髪の毛が黒から白髪(髪の毛の量も少なめに)へ、体重とウエストは大幅増(タバコを辞めた為)となりましたが、以前に比べると、鼻炎もなくなり、風邪をひくこともなくなりました。

趣味に関しては、入社当時はパチンコでしたが、今は温泉に入ることです。毎週末に行くスーパー銭湯が楽しみで仕事をしているようなものです。露天風呂の温泉は最高です!!

足つぼマッサージ

大和田 夕美



昔から凝り性で(特に首です。)よく指圧やマッサージに行ったりします。最近では、いろいろな種類があります。

ポディーケア、ハンド、頭ツボ、フェイス等ですが、全部は体験したことは無いですが、私の今のお気に入りは、足ツボです。

最初は、足ツボは痛いだけでしたが、なんで皆、痛い思いをしてまでと、以前は思っていました。ブーツを履いて出かけた後に、足ツボマッサージを受けると、足が今までの自分の足ではないみたいになります。そしてブーツに足を通しジッパーをあげると気持ちよく入ります。まあ、浮腫んでいると思うんですけど・・・。

「足は第二の心臓」だそうです。

人間の足裏には約60箇所(つぼ)があり、体が異変を起こすと、その部分に対応する反射区(足裏ツボ)に体の異常が現れるように、足で健康状態をチェックすることができるとのことです。

*くるぶし

左右のくるぶしの深さが違う人は、股関節にトラブル

*親指の裏

糖尿病・肝臓が悪い人は親指が異常に柔らかく、触るとブヨブヨしています。

*土踏まず

便秘の人は土踏まずに痛みを感じます。

*かかと

かかところが荒れて割れている人は坐骨神経痛になる恐れがあります。土踏まずが発達していない人も正しい歩き方が出来ていないので、坐骨神経痛に注意してください。

*甲状腺

甲状腺が悪くなると、親指の下が膨らみ、しこりが出来ま

す

*小指

小指が変形したり曲がっていると、冷え性や、むくみがあります。

ここをもむと、リラククス効果があるそうです。



4月の予定



- 5日(木) あすなる会
- 7日(土) 第1土曜日出勤日
- 12日(月) 土田義紀さん誕生日
- 14日(土) 第2土曜日休み
伊東郁二さん誕生日
- 17日(火) 三輪りつ子さん誕生日
- 21日(土) 第3土曜日出勤日
- 23日(月) 生産会議 12時～13時
CS向上会議 14時10分～15時
- 25日(水) 中国輸出入商品交易会 視察予定
(会場：中国・広州市)
- 28日(土) 第4土曜日休み
- 29日(日) 昭和の日
- 31日(月) 振替休日

※連休実施日
4月28日(土)～5月6日(日) 9日間

故郷 「福島」



柘植 克子

先日、2月27日に私の父が他界しました。1年前の東日本大震災が起こって以来2年ぶりに福島に帰郷しました。私の実家は山間に位置しているのですが、地震で津波は大丈夫だったので、原発の爆発による放射能被害の避難区域に指定された為に、避難を余儀なくされました。父が生まれ育った土地に、農家をして私たちが兄弟4人を育ててくれました。放射能汚染で、農家として絶望的な状況になり、家も離れなければならぬ事にとってもショックだったと思います。親戚やご近所さんたちは、みんなバラバラに避難をしている状況にもかかわらずお通夜・告別式にたくさんの方が、お悔やみに来てくれました。20年ぶりに会った私に、今回は東日本に大きな地震がきたけど、いつかは東海地震が心配されてるので、気をつけてねと温かい言葉をかけてくれました。今も余震があり、不安を抱えながらも力強く生活している姿をみて、感動しました。風景がきれいで、のどかに暮らしていたふるさとに早く戻ってほしいと思います。

編集後記

今年も気づけばもう4月。今思い返すと、日本を離れていた期間は時間がゆったり流れていたような気がします。やはり季節を感じ取って過ごせれる日本は素晴らしい。忙しい中でも心にゆとりを持てるようにしていきたいですね。

編集長



森松株式会社 社内報

No: 322号

平成24年3月28日発行

森松 HP
http://www.morimatsu.net/
オーダーマットのご注文はモーリンモールで!
http://morlinmall.jp/index.html

編集者
大石 耕平 松井 宣和
伊東 義弥 小坂 美香
小原 龍一 伊藤 雅典
創刊号：1985年7月

